

第 22 回「福島第一原子力発電所廃炉検討委員会」 議事録概要（案）

◇日時：2019年5月31日（金）15:00-17:00

◇場所：5 東洋海事ビル A+B 会議室

◇出席者（敬称略）：

（委員長）宮野

（副委員長）関村（欠席：岡本）

（幹事）浅沼、瀧口、吉見（欠席：阿部、井上、早瀬、山口、山本、柳原）

（委員）林道、山内、安部田、出光、内田、高木、高田、服部、竹田

安部、矢板、可児（運営タスク）

（欠席：小西、大隅、加治、鈴木、渡邊、越塚、奈良林、成宮）

（オブザーバー）岡本（乾氏代理、エネ庁）、植田（梅原氏代理、NDF）、野田（JAEA）、
松方（化学工学会）、田中（RWMC）

◇議事：

0. 委員長挨拶

宮野委員長より開会挨拶があった。

1. 前回第 21 回廃炉検討委員会議事録および議事概要の確認

前回第 21 回廃炉検討委員会議事録および議事概要が報告され、承認された。

2. 廃炉委の運営

(1) 委員リスト

廃炉委 委員リストを確認、オブザーバーの追加、分科会委員の変更について報告があった。

(2) 廃炉委の 2018 年度活動報告 構成案

2018 年度期末報告書について、廃炉委の成果の抜粋を掲載すること、各分科会の報告書を添付することが報告された。

(3) 年間スケジュール

2019 年度年間スケジュール案について説明があった。本委員会は年 4 回開催、原子力学会の春の年会、秋の大会での企画セッションと春のシンポジウム(3/7 予定)、国際会議への取り組みについて説明があった。

(4) 新 WG(構造評価関連)の立ち上げ

新分科会の立ち上げに関する提案について説明があった。事故炉の構造強度の考え方について学会として提言をまとめることを目指すことが説明された。

(5) 今後の活動の方向性

委員長より、2019年度の活動の方向性について提案があった。これまでの活動のまとめ(現状分析)と福島第一廃炉の課題について整理し、課題を考慮した上で、今年度の活動方針として分科会活動、事故後10年目に向けた提言のフォロー、WSのテーマ、市民との交流の4つを柱としたいとの説明があった。

3. シンポジウム等報告・計画

(1)FDR2019(廃炉国際会議)報告

5/24-26に開催されたFDR2019の報告があった。

(2)秋の大会企画セッション計画

9月に開催される日本原子力学会秋の大会での企画セッションの提案について報告があった。秋の大会では進捗報告について計画していること、講演者は各機関で検討中であることが説明された。

4. 分科会の活動状況

(1) 各分科会の活動状況(2019年度計画)

建屋の構造性能検討分科会、ロボット分科会、廃棄物検討分科会、廃炉リスク評価分科会より、分科会の活動状況について報告があった。

(2) 分科会報告書案の確認・取り扱い

(i) リスク評価分科会

活動報告書「廃炉の過程におけるリスクの評価とマネジメント」を公開したいとの主査からの提案があり、学会HPでオープンアクセスで公開することとなった。

(ii) ロボット分科会

活動報告書「福島第一原子力発電所の廃炉作業にかかわるロボットアイデアへの提言」について、取り纏め状況の説明があった。

(iii) 建屋構造分科会

2018年度中間報告書「燃料取出し開始までを対象とした原子炉建屋の耐震性について」について、取り纏め状況の説明があった。

5. 施設視察計画について

2019年度の施設視察計画について説明があった。東京から日帰りで参加できるスケジュールを検討することとなった。

6. 関係機関からの話題提供

(1) 福島第一原発の廃炉への取組

エネ庁より、福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策に関する状況の説明があった。

(2)ANFURD(福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会)活動状況

ANFURD の 2018 年活動実績と 2019 年度の活動予定について説明があった。

(3)NDF 第 4 回福島第一廃炉国際フォーラム紹介

8 月に開催される廃炉国際フォーラムの紹介があった。また、日本原子力学会秋の大会に合わせて戦略ワークショップを開催予定であるとの紹介があった。

7. NDF 第 4 回廃炉国際フォーラム ポスターセッションへの対応

廃炉委からはリスク評価についてポスター発表予定であるとの説明があった。

8. その他

次回は 9 月 2 日 (月) 15:00～を予定

以上